

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称 施策Ⅱ-5-1 道路網の整備と維持管理

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 道路建設課長 井田 悦男 電話番号 0852-22-6456

事務事業の名称	地域振興プロジェクト支援のための幹線道路の整備	
目的	(1) 対象	地域振興プロジェクト実施地域の県民・道路利用者
	(2) 意図	地域振興プロジェクトを支援するとともに、周辺地域の移動時間の改善を図ります。
事業概要	原発特措法に基づく振興計画に位置づけられた道路のうち、県道松江鹿島美保関線佐陀本郷工区等5箇所、また、観光ルートの形成を図る道路のうち、県道大社日御碕線中山工区等11箇所を整備する。	

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
			指標名	地域振興プロジェクト等と連携した事業のH23以降の供用率	目標値		24.40	34.90	45.10
式・定義	供用延長/全体供用延長	実績値	6.50	26.30	32.40	46.70		%	
		達成率		107.80	92.80	103.60		%	
指標名	式・定義	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位	
		目標値		0.00	0.00				
式・定義		実績値	0.00	0.00	0.00				
		達成率		0.00	0.00			%	

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	1,269,047	1,541,689
うち一般財源(千円)	97,737	48,454

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

道路予算が減少する中においても、地域振興プロジェクトを支援する道路については重点的に予算を配分し、概ね順調に整備を進めている。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

県道松江鹿島美保関線佐陀本郷工区、県道西郷郡方郡線大津久2工区、県道西ノ島海士線別府工区などが完成供用した。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

未整備区間については、大規模な構造物の建設、あるいは、多額の用地買収を伴うなど大きな事業費が必要であるが、予算の確保が困難な状況となっている。

②困っている状況が発生している「原因」

財源となる国の交付金については、個別の事業毎の配分ではなく、大きな枠毎での配分となっており、特別な需要に応じた要求が反映されにくい状況となっていることに加え、近年、既存施設の老朽化対策や通学路の安全対策の分野に厚く配分され、通常の道路改良への配分は低く抑えられる状況となっている。

③原因を解消するための「課題」

地域の実情に応じた国費の配分

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

国に対し地域の実情に応じた予算が配分されるよう丁寧に状況を説明するとともに、国の予算配分方針等を的確に把握し、工夫しながら、必要な予算が配分されるよう要望していく。

◎課（室）内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）